

たい。具体例として、高浜中学校の外壁が劣化し、雨漏りが年々進行して、生徒の安全・安心を脅かす恐れがあるため、公共施設あり方推進プランにある平成30年度予定の緊急修繕の前倒しで実施の検討がある。ちなみに建築業者による高浜中学校の状況確認では、雨漏りがひどい箇所の原因として、天井からではなく、外壁から雨水が染み込んでいくことが分かった。放置すれば雨漏りがひどくなるばかりでなく、外壁の劣化・剥離が進んでしまうため、予算化できないか検討している。また、継続的な課題として、高浜中学校及び港小学校の屋内運動場の非構造部材落下防止対策を図っていきたいと考えている。港小学校には吊り天井はないが、天井照明器具、バスケットゴールスピーカー等の落下防止対策を進める必要があると認識している。

また、各小中学校とも外壁の劣化が進行しているため、まだ建築業者等専門家に診てもらっていない高取小学校及び南中学校について、外壁の目視・打診調査を検討している。

現在予算編成段階で、検討を重ねている最中の答弁であることをご理解願いたい。



小嶋 克文 議員

空き家等の対策について

問 空き家の増加は防災、防犯環境、更にはまちづくりの面からも大きな問題になる。平成13年の調査では、全国の空き家の戸数は820万戸と言われているが、本市の空き家の戸数は。 **答** 5年前と比べ200戸増加し670戸、住宅総数の3・72%になっている。

問 空き家の実態調査の実施は。 **答** 現時点で、50戸程度の空き家を確認している。直ちに倒壊する危険性のある空き家は確認されていないが、土壁が露出するなど一部損壊の空き家や、立ち木が近隣の道路や家屋にはみ出している空き家等を7戸程度確認している。

問 危険な空き家の情報提供の取り組みは。 **答** 町内会とまちづくり協議会に空き家情報の提供をお願いしている。また、広報へ空き家情報の提供に関する記事を掲載し

ていきたい。

問 今後の空き家対策についての取り組みは。 **答** 市内の空き家の実態把握に努めるとともに、国や県に加え、近隣市の空き家対策の動向やガイドラインを踏まえた条例制定などの動向を注視していきたい。

防災対策について

問 本年度から開始の地域防災リーダー養成講座の開催状況は。 **答** 7月26日にNPO法人レスキューストックヤード代表理事の栗田暢之氏を講師に迎えて前期の養成講座が行われ、32名が参加しました。講演後、防災・減災活動につながる具体的企画を協議する「ワークショップ」を開催。来年の2月には、後期の養成講座を予定している。

問 11月1日に開催された外国人対象の防災訓練の状況は。 **答** 当日は、地震体験車による地震体験や水消火器訓練、「助けて」と大声を出す大声コンテストなどを行い、その後、栗田代表の講義を受講。アンケート調査では、防災訓練に対してとても満足が93%。次回の防災訓練にも全員の方が参加したいとの回答がありました。

問 平成28年度予算編成に向けて市政クラブ政策提言について。 **答** 本市の財政を取り巻く環境は、少子化対策、高齢者対策、公共施設の老朽化問題への対応やインフラ資産の更新を見込むと、長期にわたり厳しい財政運営が続くことが予測されます。歳出では、総合計画との整合性を保ちながら、三つの視点に立って予算編成を行います。▼一点目、中期基本計画の目標達成行動計画である、アクションプランの進捗に向けた必要な予算を計上します。▼二点目、平成27年度に予算計上した新規事業及び拡充事業の目標値に対する実績見込みを確認した上で、平成28年度予算に必要に応じて措置を講じます。▼三点目、限られた財源を有効に活用するために、予算編成会議による協議の結果等を踏まえ、



鈴木 勝彦 議員

平成28年度予算編成に向けて市政クラブ政策提言について

問 平成28年度予算編成方針について。 **答** 本市の財政を取り巻く環境は、少子化対策、高齢者対策、公共施設の老朽化問題への対応やインフラ資産の更新を見込むと、長期にわたり厳しい財政運営が続くことが予測されます。歳出では、総合計画との整合性を保ちながら、三つの視点に立って予算編成を行います。▼一点目、中期基本計画の目標達成行動計画である、アクションプランの進捗に向けた必要な予算を計上します。▼二点目、平成27年度に予算計上した新規事業及び拡充事業の目標値に対する実績見込みを確認した上で、平成28年度予算に必要に応じて措置を講じます。▼三点目、限られた財源を有効に活用するために、予算編成会議による協議の結果等を踏まえ、